

三島市障がいとくらしを支える協議会 運営会議

* 日 時 : 令和3年 11月22日(月) 15:30 ~ 17:00

* 場 所 : 三島市役所 本館第3会議室

* 記 録 者 : 柳沢 亜樹子 事務局員

* 司会進行 : 塩川 健太 事務局員

* 出席者 :

■ 山田 龍宏 会長	■ 久保 友明 副会長	□ 大出 高史 委員
■ 岩本 初美 委員	■ 橋本 聡子 委員	□ 野田 恵 委員
■ 笹本 絵里花 委員	■ 澤 幸恵 委員	□ 名倉 むつみ 委員
■ 古谷 のりえ 委員	■ 畠山 玲奈 委員	■ 坂倉 有美 委員
■ 津田 崇宏 課長補佐	■ 堀井 大樹 社会福祉士	■ 高杉 麻紀 相談員
■ 塩川 健太 事務局員	■ 柳沢 亜樹子 事務局員	

※ ■:出席者、□:欠席者

1 開会あいさつ

山田会長より

「皆さん、足元の悪い中お疲れ様です。コロナウィルスの感染状況が落ち着き始めたところではありますが前はオンラインで開催させていただきました。今後もあらゆる状況に備え、課題解決に努めていけるように考えております。本日も活発なご意見をお願いします。」

2 報告事項

(1) 基幹相談支援センターからの提案・課題

・11/26(金)にスキルアップ研修・みしまるネットチーム(地域生活支援拠点等事業)の進捗状況説明会を開催する。運営委員の方々にも案内の送付をしたので一読いただきたい。

3 議事

(1) オンライン会議(10月の運営会議)の振り返り

初めての試みでのオンライン会議は、参加者が少なかったものの無事に開催出来た。今後の非常時にも備えるため、運営委員から意見を聞くこととした。

【運営委員からの意見】

- ・ZOOM研修等への参加も日常的に増え、オンライン会議の参加も比較的抵抗はない。
- ・移動時間のロスがなく参加しやすい。事前に案内することで参加者の準備ができる。
- ・インフラが整っていない場合は強制退出してしまう可能性がある。環境が整っていない人は集合しても良いのであれば助かる。
- ・オンラインは緊張する。慣れるための場としてこのような機会があると良いのかも。
- ・事務局としての大変さはあまり感じない。機材が揃っていれば問題はない。
- ・全体が見渡せないことの不自由さ・聞き手の反応が薄い。参集型のメリットに気づいた。

【結果】

平常時は参集型での開催とするが、オンライン会議も有効手段と捉え、今後も必要に応じ取り入れていくこととしたい。

(2) チームの報告事項について

○みしまるネットチーム

・11/26(金)の午後にみしまるネットチーム(地域生活支援拠点等事業)の進捗状況説明会およびグループワークを使った三島市内事業所からの意見聴取等を行う。

(3) 課題分析委員からの地域課題分析結果・提案について

前会議での課題分析委員からの地域課題分析結果報告・提案等を受け、今回は運営委員からの評価・意見を聞き、今後の方向性等を協議した。

【運営委員からの意見】

・優先順位や、重要性・危機感を感じている情報があれば課題分析委員に聞きたい。

→回答:個々に必要性等があり、同時進行していくこと・関係者が集まる場づくりから提案したい。

・病院としては、地域の情報が入りづらいが今回の報告で状況がわかった。権利擁護(経済的な課題・家族支援がない時の地域支援者等)を重視している。

・見やすくわかりやすい報告だった。ライフステージでの分析が良かった。

・アーチに関わってもらう支援者を増やしたい。

・プロジェクトやチームのメンバー選出についてどのように行っていくのか。

・課題分析委員での協議の中で、“児童分野などは関係者が多岐に渡ることから、具体的な課題解決のためのチームを設置する前に、まずは関係する機関を集め、こちらが課題と感じている事柄について、同様に課題と感ずるか否かのすり合わせが必要ではないか”との意見があった。

・構成提案に記載してある分野別の2チーム(“児童の連携問題を整理するチーム”“権利擁護に関する課題を抽出・整理するチーム”)を提案したのは、その分野の関係者間で話し合い、現状の共有、課題の吸い上げ、整理をし解決に向けた具体的な取り組みに再設定することが目的。

・児童期関連の様々な関係者(教育・医療・福祉等)が集まった際に、それぞれの意見が出て活性化されるものの意見集約等が難しいこともある。

【結果】

○児童期の地域課題

・児童関連の連携問題等を検討するチームを立ち上げる前に、まずは“児童関係者が集まる場を作るプロジェクト”を立ち上げる。プロジェクトでは、集まる目的、必要な関係者、その場で取り組む内容などを検討する。

運営委員からの選出メンバーは児童期に関わっている久保副会長・岩本委員・笹本委員とし、その3名でその他のプロジェクトメンバーを選任していくこととした。

○成人期の地域課題

・“権利擁護の課題”および“相談サビ管連携チーム”の再始動“人材育成チーム”への課題の振り分け等を次回以降で検討することとした。

○高齢期の地域課題

・事例を通した検討が望ましいと考え、課題分析委員からの提案どおり基幹相談支援センターに差戻すこととする。基幹相談支援センターでは包括等の高齢分野と協働して課題を整理・協議していくための取り組みを行っていく。

(4) 令和3年度ネットワークミーティングの開催について

事務局からの提案としては、みしまるネットチーム(地域生活支援拠点等事業)等の来期に向けた今年度の活動報告を行う必要があると考えている。そのことを踏まえ、開催時期・内容・開催方法について協議することとした。

○開催時期

- ・年度内の開催とし、詳細については次回以降で決定。

○内容

- ・みしまるネットチームからの報告
- ・人材育成チームからの報告
- ・課題分析委員からの報告
- ・今後のアーチ活動予定

○開催方法

- ・新型コロナウイルスの感染状況次第で参集型かどうかを決定する。

4 閉会あいさつ

久保副会長より

「オンラインより皆さんで集まって話した方がより進捗出来たり様々なご意見が聞けると実感できました。新型コロナウイルス感染が悪化しないことを祈りつつ、ネットワークミーティングとチームが稼働していくこととなると思われます。皆さんと活発なご意見を出しながら進めていけたらと思いますので、よろしくお願ひします。ありがとうございました。」

次回開催予定

日時： 令和3年12月20日(月) 15:30～17:00

場所： 三島市役所 本館第3会議室